

 PreSonus

# Studio One® Pro

クイックスタートガイド

V7.0

# Table of Contents

<b>1</b>	<b>Studio One Pro 7へようこそ! — 1</b>
1.1	はじめに — 1
1.2	システム要件 — 1
1.3	インストール — 1
1.3.1	ユーザーアカウントを作成する — 1
1.3.2	Studio One Proを登録、ダウンロード、インストールする — 2
1.4	アクティベーション — 2
1.4.1	Studio One Proをアクティベートする — 3
1.4.2	オンラインでのアクティベーション — 3
1.4.3	オフライン登録とアクティベーション — 4
1.5	コンテンツのインストール — 4
1.5.1	アドオンコンテンツをインストールする — 4
1.6	Melodyne — 5
1.6.1	Melodyneをインストールする — 5
1.6.2	Melodyne essentialをオーソライズする — 5
<b>2</b>	<b>デバイス設定 — 6</b>
2.1	オーディオデバイスを設定する — 6
2.2	MIDIキーボードを設定する — 6
<b>3</b>	<b>便利なヒント — 8</b>
3.1	新規 — 8
3.2	スマートテンプレート — 8
3.3	インフォビュー — 8
3.4	リファレンスマニュアル — 8
3.5	別システムから移行するユーザーのためのキーコマンド — 8
3.6	追加ヘルプを入手し、その他のStudio One Proユーザーとのつながる — 9

# 1 Studio One Pro 7へようこそ!

## 1.1 はじめに

**PreSonus Studio One Pro 7にようこそ!**このたびはStudio One Proをご購入いただきありがとうございます。本製品のご使用を存分にお楽しみいただくためにも、まずは以下の情報を最後までお読みいただき、インストールを正しく完了させてください。

## 1.2 システム要件

Studio One Proは、幅広い種類のコンピューターで動作します。ご使用のシステムとの互換性については、以下の要件をご確認ください。

### macOS® (12.4以降)

- macOS® 12.4 (Monterey) 以降 (64-bitのみ)
- Intel® Core™ i3 / Apple® M1プロセッサ以上

### Windows®

- Windows 10 22H2
- Windows 11 22H2以降 (64-bitのみ)
- Intel® Core™ i3/AMD A10プロセッサ以上

### Linux (パブリックベータ)

- Ubuntu23.10とWaylandセッションが必要です
- Intel® Core™ i3 / AMD A10プロセッサ以上
- Vulkan 1.1またはOpenGL ES 2互換グラフィックドライバー

### 追加要件 (システム共通)

- インターネット接続 (インストールとアクティベーションに必要)
- 1280 x 768以上の解像度のモニター (高dpi / Retinaモニター推奨)
- タッチ操作にはTUIO互換マルチタッチ対応モニターが必要です
- コンテンツストレージ:
  - 最小8GB RAM
  - 40GBのハードディスク空き容量 (Studio One Pro)

## 1.3 インストール

Studio One Proのインストール方法は、購入方法により異なります。

**小売店でご購入いただいた場合:** ボックス版のStudio One Proを購入し、ボックスにプロダクトキーしか入っていなかった場合、キーを登録してStudio One Proをダウンロードしてから初回起動時にアクティベーションを行います。

**Shop.PreSonus.comから直接ご購入いただいた場合:** <http://shop.presonus.com>から直接ソフトウェアをご購入いただいた場合、Studio One Proインストールのダウンロードがユーザーアカウントに追加され、[My.PreSonus.com](http://My.PreSonus.com)ホームページの最近購入した製品リストに表示されます。アクティベーションは、製品の初回起動後オンラインで行われます。

### 1.3.1 ユーザーアカウントを作成する

Studio One ProをPreSonusウェブサイトからご購入いただいた場合、お客様用のMy.PreSonusアカウントはすでに作成されています。My.PreSonusアカウントをお持ちでない場合、アカウントを作成する必要があります。

My.PreSonusアカウントは最新バージョンのStudio One Pro 7をダウンロードおよびアクティベートするのに必要なだけでなく、追加ドキュメンテーションやコンテンツファイル、ユーザーフォーラム、最新のアドバイスや製品ビデオへのアクセス、およびテクニカルサポートのチケット作成が簡単に行えます。

ユーザーアカウントを作成するには、<http://my.presonus.com>を開きます。このページで[MyPreSonusアカウントを

**作成**]をクリックしてから、フォームに記入するか、Facebook、Google、LinkedInアカウントにMyPreSonusを接続してから**[MyPreSonusアカウントを作成]**をもう一度クリックして新規アカウントを作成します。

アカウントが作成できたら、PreSonusからアカウントに入力したメールアドレスに対して確認メールが自動送信されます。メールに記載されているリンクをクリックしてアカウントをアクティベートします。これで、Studio One Proをダウンロードしてインストールできます。

アカウント作成から数分経っても確認メールが届かない場合、手動でアカウントをアクティベートする必要がある場合がありますので、[support@presonus.zendesk.com](mailto:support@presonus.zendesk.com)までご連絡ください。

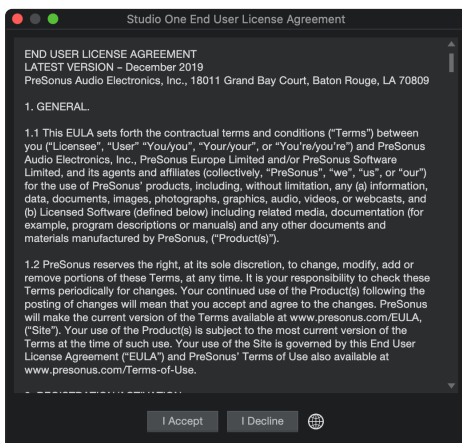
ご使用のコンピューターがインターネットに接続していなくても、インターネット接続のある別のコンピューターを使用して下の「**オフラインアクティベーション**」セクションの説明に従ってStudio Oneをダウンロードおよびアクティベートできます。

### 1.3.2 Studio One Proを登録、ダウンロード、インストールする

Studio One Proインストーラーをダウンロードするには、<http://my.presonus.com>からMyPreSonusアカウントにログインします。**[新規ソフトウェアを登録]** ボタンをクリックして、**[ソフトウェア]** または **[拡張]** を選択してプロダクトキーを入力します。Studio One ProアップグレードをPreSonusウェブサイトからご購入いただいた場合、プロダクトキーはメールに記載されています。Studio One Proボックス版をご購入いただいた場合、プロダクトキーはボックスに同梱されています。

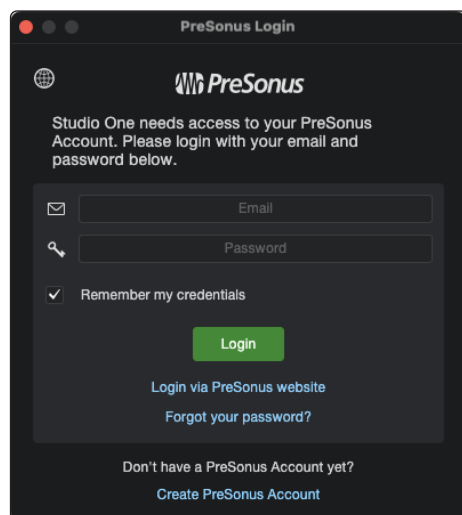
Studio One Proの登録が完了すると、**[製品を表示]** ボタンをクリックできるようになります。クリックするとその製品の詳細ページが開きます。ページには **(MacまたはWindowsの) インストーラーをダウンロードするボタン**があります。これをクリックして、Studio One Proインストーラーをダウンロードします。ご使用のオペレーティングシステム用のインストーラーが自動でダウンロードされます。Studio One Proをインストールする予定のコンピューターとは別のコンピューターでインストーラーをダウンロードする必要がある場合 (MacでWindows用のインストーラーをダウンロードするなど)、**[すべてのシステムを表示]** をクリックして正しいインストーラーをダウンロードします。インストーラーがダウンロードできたら、実行して画面上の指示に従ってください。

## 1.4 アクティベーション



Studio One Proをお手持ちのコンピューター上で使用するにはアクティベートする必要があります。インストールが完了したら、Studio One Proを起動します。使用許諾契約が表示されます。

**[同意する]** をクリックして契約に同意すると、PreSonusログインウィンドウが表示されます。



ユーザーアカウントをお持ちの場合、My.PreSonusユーザー名とパスワードを入力して**[ログイン]** を押し、アカウントにログインします。

The screenshot shows the 'PreSonus Login' window. At the top, it says 'Please enter your contact data to sign up now. An e-mail will be sent to you with a link to activate your account.' Below this are input fields for 'First Name', 'Last Name', 'Country/Region', 'Email', 'Password', and 'Repeat Password'. There are two checkboxes: 'I have read and agree to the latest Terms of Use.' with a link to 'PreSonus Terms of Use', and 'I would like to receive occasional updates from PreSonus via e-mail.'. At the bottom is a green button labeled 'Create PreSonus Account'.

アカウントを作成する必要があり、ご使用のコンピューターがインターネットに接続している場合、[MyPreSonusアカウントを作成]をクリックします。ユーザーアカウント情報を入力して、[PreSonusアカウントを作成]をクリックします。

### 1.4.1 Studio One Proをアクティベートする

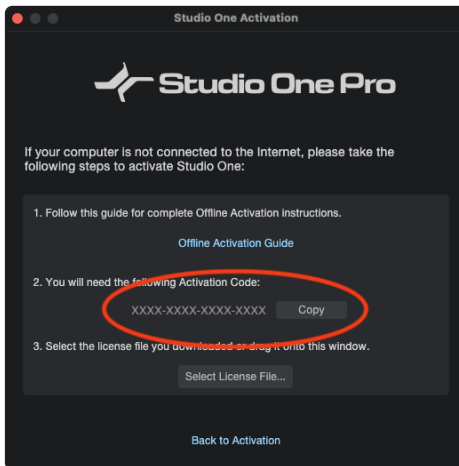
ほとんどの場合、Studio One ProはMy.PreSonusアカウントへの初回ログイン時に自動アクティベートされます。同一バージョンのStudio One Proライセンスを複数、同一のMyPreSonusアカウントに登録している場合など、まれに、アクティベートするライセンスを選択する必要がある場合があります。Studio One Proを起動して [Studio One] メニューの [Studio Oneアクティベーション] を開きます。

### 1.4.2 オンラインでのアクティベーション

The screenshot shows the 'Studio One Activation' window. It features the Studio One Pro logo and the text: 'Welcome! To authorize this computer for the use of Studio One, please select your version and activate it below.' There are two radio button options: 'Activate with Studio One Pro+' and 'Activate my purchased version of Studio One'. Below these is a 'Product Key' input field and a green 'Activate' button. At the bottom, it says 'No Internet connection? Activate Offline'.

Studio One Proがインストールされているコンピューターがインターネットに接続されている場合、[購入したバージョンのStudio One Proをアクティベート] オプションを選択します。プロダクトキーが未入力の場合、メールに記載 (または、ボックス版またはアカデミック版Studio One Proのパッケージに同梱) されているプロダクトキーをタイプ入力またはコピー&ペーストします。[アクティベート] ボタンをクリックし、アクティベーションを完了します。

### 1.4.3 オフライン登録とアクティベーション



Studio One Proがインストールされているコンピューターがインターネットに接続していない場合、[Studio Oneアクティベーション]メニューの[オフラインでアクティベート]をクリックして、表示されるアクティベーションコードをメモしておきます。USBフラッシュメモリ、プロダクトキー、アクティベーションコードが必要となります。

その後、インターネットに接続している別のコンピューターで<http://my.presonus.com>を開き、アカウントにログインします。[製品を登録] ボタンをクリックして[ソフトウェア]または[拡張]を選択し、Studio One Proパッケージに記載またはメールで提供されたプロダクトキーを入力します。[登録]をクリックすると、[ソフトウェア]リストが表示されます。

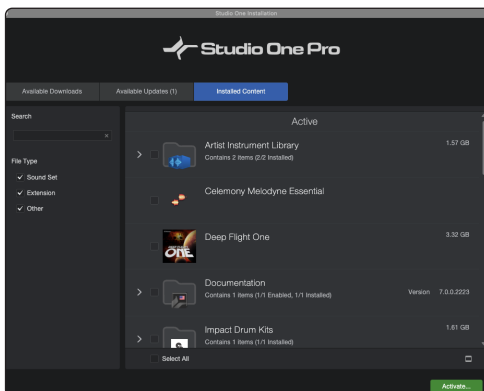
先ほど登録した製品を[ソフトウェア]リストから選択して、次のページで[オフラインアクティベーション]をクリックします。[ソフトウェアをアクティベート]をクリックして、Studio One Proが提供するアクティベーションコードを入力します。コンピューター名を入力しておく、5件のアクティベーションを

管理しやすくなります。

[オフラインアクティベーション]をもう一度クリックしてから、[ライセンスをダウンロード]をクリックしてユーザーライセンスファイルをダウンロードします。このファイルを外部メディア(フラッシュメモリやCD-Rなど)に保存し、Studio One Proがインストールされているコンピューターにファイルをコピーします。

Studio One Proで、[Studio One]>[Studio Oneアクティベーション]ダイアログをもう一度開き、[オンラインでアクティベート]をクリックしてから[ライセンスファイルを選択]をクリックし、ユーザーライセンスファイルをロードしてStudio Oneをアクティベートします。

## 1.5 コンテンツのインストール



Studio One Proには、数々のオーディオループとインストールメントが付属しています。これらはサウンドセット、デモソング、チュートリアルビデオとしてまとめられています。サウンドセットとデモ/チュートリアルをインストールするには、Studio One Proを起動し、[Studio One]メニューの[Studio Oneインストール]を開きます。

[Studio Oneインストール]メニューでは、選択されているすべてのコンテンツをMyPreSonusアカウントからダウンロードするよう選択したり、[ファイルからインストール]ボタンを使用してファイルシステム内のダウンロード済みコンテンツを開いたりできます。後でコンテンツをインストールしたい場合、[Studio One]>[Studio Oneインストール]ウィンドウからいつでも行えます。

デフォルトでは、ご使用のエディションのStudio One Proに付属の基本パッケージすべてが[推奨インストール]タブ内に選択されています。[インストールオプション]メニューを使用して、コンピューター上の任意のロケーションを設定します。ロケーションを選択したら、[インストール]をクリックして続行します。

インストールが完了すると、Studio One Proのブラウザーにインストールされたコンテンツすべてが表示されます。デモとチュートリアルは、スタートページから選択できます。インストールメントプリセットは、ブラウザーの[インストールメント]タブの関連するインストールメント、および、プラグインウィンドウのプリセットブラウザー内にリストされます。

### 1.5.1 アドオンコンテンツをインストールする

<http://Shop.PreSonus.com>でStudio One Proと一緒にまたは後日アドオンとして購入した追加コンテンツをインストールする必要がある場合、検索エリアの「購入済みコンテンツ」チェックボックスでフィルターされたStudio One Proインストールウィンドウで選択します。または、<http://my.presonus.com>アカウントからコンテンツをダウンロードします。コンテンツをデフォルトのユーザーロケーションにインストールするには、コンテンツをダブルクリックするか、Studio One Proウィンドウにドラッグします。

サウンドセットを別のロケーションに格納したい場合、そのロケーションに格納してから、[Studio One]>[オプション]>[ロケーション] (macOS: [環境設定]>[オプション]>[ロケーション]) にそのロケーションを追加します。ここでは、サウンドセット、インストールメント、サードパーティ製プラグインに新規ロケーションを追加できます。

## 1.6 Melodyne

PreSonusはCelemonyとパートナー提携し、グラミー賞に輝いた秀逸のタイミング/ピッチ補正およびマニピュレーションツールであり、Studio One Proにタイトに統合するMelodyneをユーザーに提供します。Studio One Proには、Melodyne essentialライセンスが付属しています。

### 1.6.1 Melodyneをインストールする

Studio One Proで、*[Studio One]>[Studio Oneインストール]*を開きます。リストされているMelodyneのバージョンの横のボックスにチェックマークを入れて選択します。選択したら、*[インストール]*をクリックしてMelodyneをインストールします。

リストのMelodyneの横の*[プロダクトキーを取得]* ボタンをクリックして、Melodyneプロダクトキーを取得します。キーが表示され、*[コピー]* ボタンをクリックするとクリップボードにコピーされます。

### 1.6.2 Melodyne essentialをオーソライズする

Melodyne essentialを使用するには、まず、プラグインバージョンと一緒にインストールされているスタンドアロンバージョンのMelodyneアプリケーションを起動する必要があります。Melodyneを開いたら、*[シリアルナンバーを入力]* ボタンを押してMelodyne essentialのシリアルナンバーをタイプ入力またはペーストし、*[続行]* を押します。Melodyneの登録を促すメッセージが表示されるので、*[myCelemonyアカウントを作成]* をクリックします。手順に従ってMelodyne essentialを登録します。

登録が完了したら、スタンドアロンバージョンのMelodyneを終了し、Studio Oneを起動してMelodyne essentialの使用を開始できます。

*[インストール]* をクリックして、Melodyneをインストールおよびオーソライズします。

## 2 デバイス設定

### 2.1 オーディオデバイスを設定する

Studio One Proは、コンピューターにインストールされているデバイスのリストから、オーディオの入力と出力に使用するオーディオデバイスを自動選択します。PreSonusインターフェースをご使用の場合、そのインターフェースが自動選択されます。

別のデバイスを選択するには、[Studio One]>[オプション]>[オーディオ設定] (macOS: [環境設定]>[オプション]>[オーディオ設定]) を選択するか、Studio One Proスタートページの[設定]で[オーディオデバイスを設定]をクリックします。次の手順に従ってオーディオデバイスを設定します。

1. [Studio One]>[オプション]>[オーディオ設定] (macOS: [環境設定]>[オプション]>[オーディオ設定]) の[オーディオデバイス]ドロップダウンメニューからデバイスを選択します。
2. 一部のデバイスでは設定オプションを選択できます。接続されているデバイスにこのようなコントロールがある場合、デバイス選択ドロップダウンメニュー横の[コントロールパネル]ボタンをクリックして、デバイスのコントロールパネル内で変更できます。ご使用のデバイスにこのようなオプションがない場合、[コントロールパネル]ボタンは灰色表示になります。
3. 必要に応じて[デバイスブロックサイズ]を設定します (Windowsでは[内部デバイスブロックサイズ]も)。設定値が低いとレイテンシーが最小限になり、トラッキング時に便利です。設定値が高いとレイテンシーが上がりますが、エフェクトとインストールメントプラグインの処理パワーが向上します。
  - **macOS:** [デバイスブロックサイズ]はオーディオデバイスのバッファーサイズで、オーディオデバイスの性能に直接影響を与えます。[デバイスブロックサイズ]は、フェーダーを左右に動かすことで増減できます。適切な設定値は、Studio One Proの用途により異なります。
  - **Windows:** [ロック]チェックボックスをオンにすることで[内部ブロックサイズ]を[デバイスブロックサイズ]に固定できます (デフォルトではこの設定)。**[内部ブロックサイズ]**はソフトウェアのバッファーサイズで、ご使用のコンピューターシステムとStudio One Proの性能に直接影響を与えます。  
ロックが解除されている場合、[内部ブロックサイズ]をドロップダウンメニューから選択できます。設定するべき値が分からない場合は、[内部ブロックサイズ]を[デバイスブロックサイズ]にロックしておきます。  
Universal Audio UADハードウェアなどのDSPエフェクトおよびバーチャルインストールメントでは、正常に動作させるにはご使用のオーディオデバイスの[内部ブロックサイズ]にロックさせる必要があります。
4. デフォルトでは、Studio One Proの処理精度は[シングル (32ビット浮動小数点)]に設定されています。[処理精度]ドロップダウンメニューから[ダブル (64ビット浮動小数点)]を選択することもできます。
5. ご使用のコンピューターに複数のプロセッサまたはプロセッシングコアが搭載されている場合、デフォルトでは[マルチプロセッシングを有効化]チェックボックスがオンになります。パフォーマンスに問題が生じるのでない限り、このデフォルト設定から変更しないことをおすすめします。
6. 前述の設定が選択されている場合、ご使用のシステムの現在の入出力レイテンシーの総計、サンプルレート、ビット深度が[オーディオ設定]メニューに表示されます。  
*オーディオデバイスとI/O設定について詳しくは、Studio One Proの[ヘルプ]メニューのリファレンスマニュアルをご参照ください。*

### 2.2 MIDIキーボードを設定する

MIDIキーボードコントローラーはハードウェアMIDI機器で、他のMIDI機器、バーチャルインストールメント、ソフトウェアパラメーターの再生とコントロールに使用されます。Studio One Proでは、MIDIキーボードコントローラーを「キーボード」と呼びます。キーボードを使って演奏を録音する前に、Studio One ProでMIDIキーボードコントローラーを設定しておく必要があります。設定が完了すれば、いつでもStudio One Proで使用できるようになります。

キーボードを設定するには、[Studio One]>[オプション]>[外部デバイス] (macOS: [環境設定]>[オプション]>[外部デバイス]) を開くか、Studio One Proスタートページの[設定]で[外部デバイスを設定]をクリックして次の手順に従います。

1. [外部デバイス]セクションで、[追加]ボタンをクリックします。
2. あらかじめ定義されているデバイスリストの中からご使用のデバイスを選択するか、リストにご使用のデバイスがない場合[新規キーボード]に設定します。
3. [新規キーボード]に設定した場合、[製造元]と[デバイス名]フィールドにそれぞれ情報を入力します。これで、ご使用のキーボードを識別しやすくなります。

4. このキーボードとの通信に使用するMIDIチャンネルを指定します。デフォルトでは、すべてのMIDIチャンネルが選択されます。  
どのMIDIチャンネルを使用すべきか分からない場合は、デフォルト設定にしておきます。
5. キーボードから各MIDIチャンネルに対して別個のインストゥルメントトラック入力を作成したい場合、[チャンネルを分割] をオンにします。
6. キーボードの送信先と受信元となるデバイスを指定します。[受信元]と[送信先]のドロップダウンメニューで、デバイスのドライバー名を選択します。
7. このキーボードをデフォルトのバーチャルインストゥルメント入力として使用する場合、[デフォルトのインストゥルメント入力]チェックボックスをオンにします。Studio One Proで1つのキーボードしか使用しない場合、このチェックボックスをオンにする必要があります。

これで、キーボードをStudio One Proで使用する準備ができました。

**MIDIデバイス設定について詳しくは、Studio One Proの[ヘルプ]メニューのリファレンスマニュアルをご参照ください。**

## 3 便利なヒント

### 3.1 新規

スタートページで[新規...]をクリックして新規ソング、新規ショー、新規プロジェクトを作成できます。

- **ソング**では、オーディオとノートデータの録音、編集、アレンジ、ミックスを行います。
- **ショー**では、Studio One Proをバックトラックなどに使用してライブ演奏を行います。
- **プロジェクト**では、複数のソングまたはオーディオファイルを並び替えるマスタリング作業を行います。

### 3.2 スマートテンプレート

スマートテンプレートは、作業内容に最適化された新規ドキュメントを作成し、Studio One Proを学ぶのに役立つインタラクティブなチュートリアルを備えています。

たとえば、[コンテンツを作成]テンプレートを選択すると、ビデオトラック1つ、ボイスオーバー用トラック2つ、音楽/FX用ステレオトラック1つ、ポッドキャストに適した処理エフェクトがコンソールチャンネルに配置された状態の新規ソングファイルが作成されます。

「今すぐプレイ」「今すぐ録音」「ビートを生成」など、人気のクリエイティブなタスクに対してスマートテンプレートが多数用意されています。

### 3.3 インフォビュー

インフォビューパネルは、ソングページまたはプロジェクトページの一番上のツールバーにあるクエスチョンマークのアイコンをクリックすると開きます。インフォビューパネルには、選択されているマウスツールで実行可能な操作と、修飾キーに関連する操作が表示されます。Studio One Proインターフェースと付属のプラグインのコントロールの情報も、各コントロール上にマウスポインターを重ねるとインフォビューに表示されます。キーボードのF1を押すと、インフォビューからStudio One Proリファレンスマニュアルの該当セクションに直接移動できます。

### 3.4 リファレンスマニュアル

Studio One ProリファレンスマニュアルはStudio One Proに完全統合されており、[ヘルプ]メニューから (Studio One Proリファレンスマニュアル) またはキーボードのF1を押してアクセスできます。目次はヘルプウィンドウの左列に表示されます。さらに、総索引、テキスト内の相互参照リンク、便利な検索オプションもあります。英語版リファレンスマニュアルはデフォルトでインストールされていますが、他言語バージョンは[Studio One Proインストール]メニューから利用できます。

### 3.5 別システムから移行するユーザーのためのキーコマンド

別のDAWからStudio One Proへ移行した場合、キーコマンドセットを切り替えると便利です。

[Studio One]>[オプション]>[キーボードショートカット] (macOS: [環境設定]>[オプション]>[キーボードショートカット])の[キーボードマッピングスキーム]から変更できます。ここでは、Pro Tools®、Cubase、Logic®など複数のDAWのキーボードマップから選択できます。マップを選択すると、そのDAWの一般的なキーコマンドが自動認識され、適用されます。キーコマンドはワークフローに合わせてカスタマイズできます。

各DAWで使用されているキーコマンドは、[キーコマンド]メニューから確認したり、さまざまなファイルフォーマットでエクスポートして別アプリケーション上で確認できます。

### 3.6 追加ヘルプを入手し、その他のStudio One Proユーザーとのつながる

Studio One Pro 7では、[ヘルプ]とリファレンスマニュアルはどちらもコンテキストに応じて情報を提供し、ほとんどの場合疑問点を解決してくれるはずですが。さらなる情報が必要な場合：

1. オンラインナレッジベースをご参照ください：<http://support.presonus.com/forums>
2. PreSonusフォーラムで他のユーザーに質問してみましょう：<https://forums.presonus.com>フォーラムは、他のStudio One Proユーザーとつながりを持つのに最適なロケーションです。
3. ナレッジベースのリンクやMyPreSonusアカウントからサポートチケットを申請することもできます。

**Studio One Proをどうぞお楽しみください。**

# 特別掲載: PreSonusの秘伝レシピ

## チキンとソーセージのガンボ

### 材料:

- 中力粉 1カップ
- サラダ油 3/4カップ
- 玉ねぎ 大1個(さいの目切り)
- 玉ねぎ 小1個(4つ切り)
- セロリ 6本(さいの目切り)
- 青ピーマン 大1個(さいの目切り)
- にんにく 3片(2片をみじん切り、1片を丸ごと)
- アンドウイコソーセージ 450グラム
- 鶏もも肉 4本(4つにぶつ切り)
- 水 4リットル
- ローリエ 4枚
- タイム 小さじ1
- オールドベイシーズニング 小さじ1
- 冷凍オクラ 1~2カップ(薄切り)
- パセリ(生) 1/4カップ(みじん切り)
- 卵 6~8個(好みで)

### 作り方:

1. 大型の鍋に、鶏肉、水、4つ切りの玉ねぎ、オールドベイシーズニング、ローリエ2枚、にんにく1片(丸ごと)を加える。蓋をして弱火で煮立たせる。鶏肉が骨から簡単に外れるようになるまで煮込む。鶏肉を鍋から取り出しておく。玉ねぎ、ローリエ、にんにくを鍋から取り出し、スープはそのまま取っておく。
2. 厚手の鍋を中火にかけ、油大さじ1を入れ、ソーセージに焦げ目がついて火が通るまで炒める。ソーセージを鍋から取り出しておく。
3. 同じフライパンで、残りの油を熱する。中力粉を少しずつ(一度に大さじ1~2)加え、かき混ぜながら炒める。濃い茶色(溶けたダークチョコレートのような色)のルーになるまで、かき混ぜながら炒める。焦がさないよう火力に注意する。
4. ルーが濃い茶色になったら、さいの目切りの玉ねぎ、セロリ、青ピーマン、みじん切りのにんにくを加える。野菜がやわらかくなるまで炒める。蓋はしないこと。
5. スープの1/4をゆっくりフライパンに加え、かき混ぜながら弱火で沸騰させる。
6. フライパンの中身を別の鍋に移し、弱火で煮る。ルーが鍋の底にたまり焦げつくので、蓋はしないこと。
7. 残りのチキンスープ、ローリエ、タイムを加える。30分煮込む。
8. ガンボを煮込んでいる間に、鶏肉を骨から外して裂き、ソーセージを薄切りにする。
9. 鶏肉とソーセージをガンボに加える。弱火で30~45分間煮込む。
10. 冷凍オクラとパセリを加え、煮立たせる。
11. **お好みで:**卵1個をティーカップに割り入れ、沸騰中のガンボにすばやく加える。残りの卵も同様に割り入れる。卵同士が近づきすぎないように注意。すべての卵が表面に浮き上がってきたら、火を弱め、煮る。
12. 塩とこしょう(赤、白、黒)で味を整える。
13. ライスにガンボをかけ、ポテトサラダを添える。

12人分

以下に示されていない限り、ここに含まれる商標、サービスマーク、およびロゴ（以下「マーク」）は、PreSonus Audio Electronics, Inc. により所有または管理されているまたは許可を得てここで使用されています。最新の機能一覧、互換性、コンピューター要件情報については[www.presonus.com](http://www.presonus.com)をご覧ください。

©2024 PreSonus Audio Electronics, Inc. All Rights Reserved. 無断複写・転載を禁じます。

AudioBox USB, Capture, CoActual, EarMix, Eris, FaderPort, FireStudio, MixVerb, Notion, PreSonus, PreSonus AudioBox, QMix, RedLightDist, SampleOne, Sceptre, StudioLive, Temblor, Tricom, WorxAudio, Revelator およWave Logoは、PreSonus Audio Electronics, Inc. および/またはその関連会社の商標であり、一部は米国およびその他の国での登録商標です。



ASIOはSteinberg Media Technologies GmbHの商標およびソフトウェアです。VSTはSteinberg Media Technologies GmbHの商標です。

Dolby, Dolby Atmos、およびダブルD記号はDolby Laboratories Licensing Corporationの登録商標です。

Dolby Laboratoriesのライセンスに基づき製造されています。機密の未発表の製品

Copyright © 2024 Dolby Laboratories All Rights Reserved. 無断複写・転載を禁じます。

Mac, macOS, iPadOSは米国およびその他の国におけるApple, Inc.の登録商標です。Windowsは米国およびその他の国におけるMicrosoft, Inc.の登録商標です。

本書に記載のその他の製品名および会社名は各社の商標または登録商標です。すべての仕様は予告なく変更する場合があります。 Part# 70-62000271-A